

工事説明書

パネル材仕様		扉材仕様
FB4515P F45B15Pタイプ	FB4516P F45B16Pタイプ	FB4516Wタイプ
FB4515P F45B15P EFB4515P SFB4515P NFB4515P NF45B15P	FB4516P F45B16P NFB4516P NF45B16P	FB4516W SFB4516W

スライド 食器洗い乾燥機 (家庭用)

ビルトイン (幅45cm) タイプ

特定保守製品

特定保守製品に関するお願い

- ・本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- ・特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なものとして政令で定めるもの」です。
- ・付属の取扱説明書と所有者票 (黄色) は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様 (消費者、賃貸業者等の所有者) にお渡しください。
- ・消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入業者 (特定製造事業者等) に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

事業者のみなさまへ

所有者が所有者票の送付などにより所有者登録を必ず行うようご協力をお願いします。

流通のみなさまへ＝情報伝達のお願い＝

この製品に同こんされている所有者票は、特定保守製品取引事業者 (住宅販売事業者・販売店など) が所有者への法定説明や所有者登録への協力を行うために用い、その後、特定保守製品取引事業者から所有者へ渡していただく必要があります。

製品の流通段階での周知を含め、所有者票を必ず特定保守製品取引事業者に渡していただくよう情報伝達をお願いします。

関連事業者 (設置事業者) さまへ

この機器は消費生活用製品安全法 (消安法) で指定された「特定保守製品」ですので、設置事業者は消安法上、この機器の設置の際に所有者に対して、点検期間中に点検を行うことが必要であるとともに、この機器の製造事業者に所有者登録や所有者情報の変更をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、所有者にその必要性を伝える責務があります。

また、同こんされている所有者票を必ず販売事業者 (特定保守製品取引事業者) にお渡しください。

(既に販売事業者から所有者へ渡されている場合は除きます。)

販売事業者 (特定保守製品取引事業者・販売店) さまへ

この機器は消費生活用製品安全法 (消安法) で指定された「特定保守製品」ですので、販売事業者は消安法上、所有者に所有者票を示して「お客さまへ (法定説明事項)」にある下記項目を説明する義務があります。また、所有者に所有者登録を必ず行うようお願いしてください。(登録の方法については所有者票をご覧ください。)

- ・この製品は経年劣化により危害をおよぼすおそれがあるため、この製品の所有者は点検期間に法定の点検 (有料) を受けるなどの保守を行うことが求められています。
- ・この製品の所有者は所有者票の送付などにより、この製品の製造事業者に所有者登録することが求められています。
- ・この製品の所有者はこの製品の製造事業者から点検期間の始まる時期に法定の点検通知を受けることになっています。
- ・この製品の所有者は所有者登録の情報に変更があった場合は変更の登録が求められています。(変更の方法については所有者票をご覧ください。)
- ・所有者登録のため、この製品の所有者から所有者情報のご提供を受けた場合には、販売事業者は所有者票の送付などの方法でこの製品の製造事業者に所有者情報を提供することになっています。



59227260

ケF72-06

も く じ


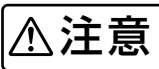

安全上のご注意	1~2	給・排水工事について	8~9
設置される方へ	3	設置手順	10~16
開こん(付属品の確認)	4	試運転	17~18
各部のなまえと寸法	5	試運転後の作業	18
設置場所について	6	お客様への取り扱い説明	18
電気工事について	7	仕様	裏表紙
給湯器について	8		

安全上のご注意

必ずお守りください。

絵表示について

この工事説明書では、製品を正しく設置していただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。





 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。

※警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を下線文字で表記しています。

(例：やけどのおそれがあります。)

絵表示の例

- | | |
|--|---|
|  分解禁止 |  記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  アース線接続 |  記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合はアースを確実に取り付けてください)が描かれています。 |

警告



分解禁止

- ・修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



アース線接続

- ・アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



必ず守る

- ・電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因になります。



必ず守る

- ・電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。



必ず守る

- ・本機と移動防止金具を固定してください。ドアを引き出したときに、本機が収納キャビネットから落ちる原因になります。



禁止

- ・コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しない。感電・漏電や火災の原因になります。



禁止

- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



必ず守る

- ・定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使ってください。他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



水ぬれ禁止

- ・水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。



火気禁止

- ・火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けないでください。変形や火災の恐れがあります。



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



禁止

- ・延長コードは使わない。発火による火災の原因になります。



禁止

- ・ビルトインのとき電源コード・アース線・給水ホース・排水ホースに傷つけない。感電・漏電・火災や水漏れの原因になります。

注意



必ず守る

- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



禁止

- ・電源コードを傷付けたり、熱器具に近づけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

- ・交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



必ず守る

- ・高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付けてください。

設置される方へ

この「工事説明書」を設置前に必ずお読みください。

- ◎この製品は第三者認証機関より『給水装置の構造および材質の基準(厚生省令)』に適合するとの証明を受けています。
- ◎設置が終わりましたら、(設置後の点検確認)のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。



警告



必ず守る

この『工事説明書』に従い、有資格者による正しい工事を行う。



必ず守る

配管工事は全て水道法・建築基準法・各都市の条例・規定に準じて行う。



必ず守る

電気配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に準じて行う。
配線工事は電気工事士の資格が必要です。



必ず守る

設置後は(設置後の点検確認)のチェックリストに基づいて、必ず点検する。
思いがけない事故の原因になります。



必ず守る

設置後は別添の『取扱説明書』に従い、安全上のご注意と使いかた、特定保守製品と点検について、をお客様に説明する。
誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

設置後の点検確認

・チェックリスト

点 検 項 目	点 検 内 容	参照ページ	チェック	
機器その周辺及び	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか。	6	
	電源(電圧)	100Vの専用回路に接続しましたか。	7	
給水・排水接続	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	8	
	フィルター	給水ホースと止水栓との接続部にフィルター付きパッキンを挿入しましたか。	13	
電気接続	排水ホース	排水管との接続部が確実に接続したことを確認しましたか。 また、押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	14	
	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V15Aのアースターミナル付埋込コンセントに接続しましたか。	7		
転倒防止	アース線を接続しましたか。	7・11		
	転倒防止金具を固定していますか。 ドアを最後まで引き出したとき、本体が倒れませんか。	10・12		
移動防止	移動防止金具を固定していますか。 ドアを最後まで引き出したとき、本体が前へ移動しませんか。	13		
試運転	試運転を行い、正常に動作しましたか。 給水・排水ホース接続部に水もれはありませんか。	17・18		
漏電ブレーカー	試運転後、ブレーカー(機器用)は「ON」のままにしていますか。	17		
止水栓・給水栓	止水栓・給水栓は開きましたか。	17		

お客様への取扱説明

1. 別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項・正しい使用方法をお客様に説明してください。
2. 保証書(取扱説明書に記載)に必要な事項を記入のうえ、この『工事説明書』とともにお客様に渡していただき、保管のお願いをしてください。
3. 設置後、お客様に異常報知発生時の処置(取扱説明書 P22)のため、止水栓の位置や専用回路のブレーカーの位置を説明してください。

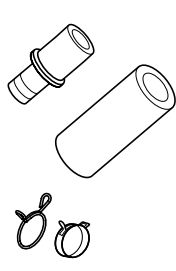
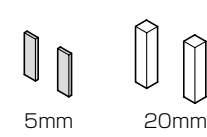

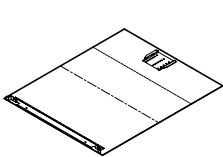

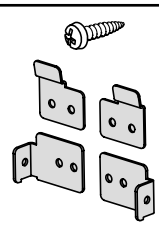


開こん

付属品の確認

- ・ ドアのテープは設置時まで取らないでください。

◎設置に必要な付属品

- ・ 次の部品が付属品として本体とダンボール(下)の間に同こんされています。
付属品に不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	数 量	部 品 名	形 状	数 量
排水ホース継手 接続ホース ホースバンド(大) ホースバンド(小)		1個 1個 2個 1個	スペーサー		各2個
タッピンネジ(呼び4) (移動・転倒防止金具用) ナベ小ネジ(呼び5) (移動防止固定用)		4本 2本	移動防止金具 転倒防止金具付 型紙セット		1枚
フィルター付きパッキン		1個	タッピンネジ(呼び4) (扉材固定金具用) 扉材固定金具 ※FB4516Wタイプ のみ同こん		8本 各1個
フィルラー		1枚	工事説明書		1冊

◎ご使用時に必要な付属品

- ・ 次の部品が庫内に同こんされています。
設置後、ドアのテープをはがし、付属品に不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	数 量	部 品 名	形 状	数 量
取扱説明書(保証書付) ご使用ガイド 所有者票		1冊 1枚 1枚	専用洗剤(試供品)		1個

各部のなまえと寸法

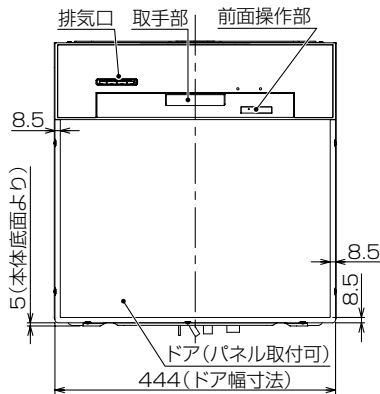
(単位：mm)

パネル材仕様

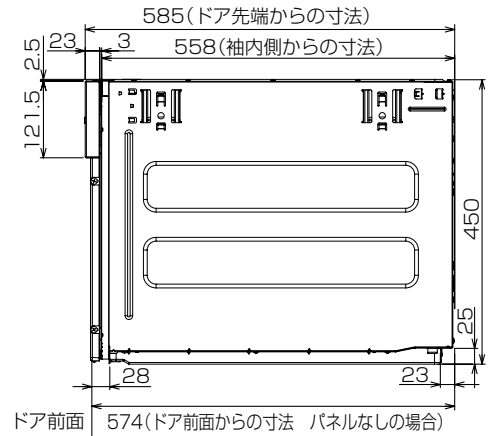
FB4515P・F45B15Pタイプ

(正面図)

※給水・給湯接続



(側面図)

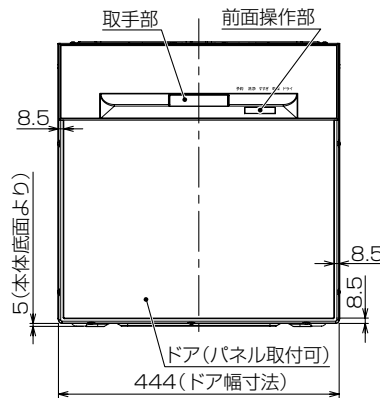


パネル材仕様

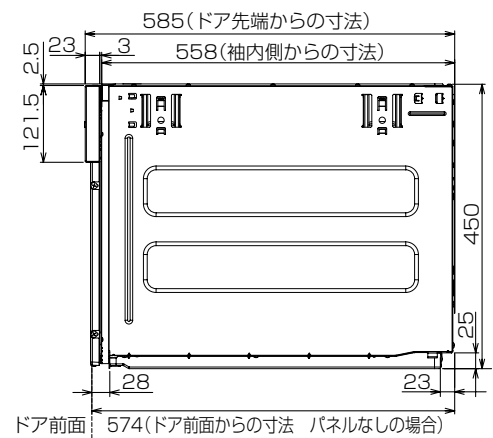
FB4516P・F45B16Pタイプ

(正面図)

※給水接続専用



(側面図)

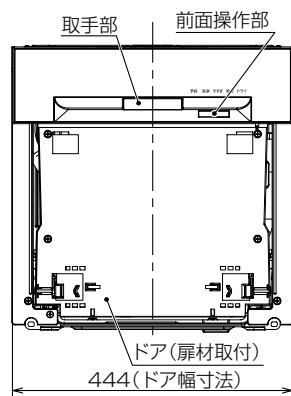


扉材仕様

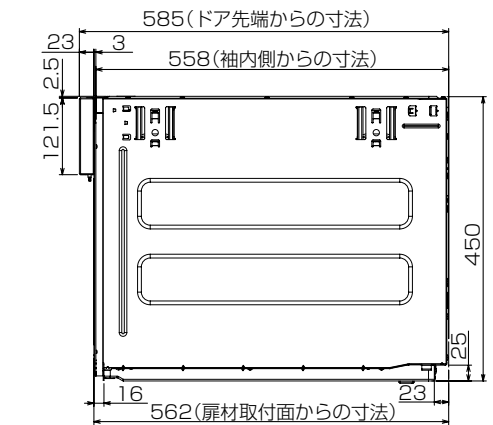
FB4516Wタイプ

(正面図)

※給水接続専用

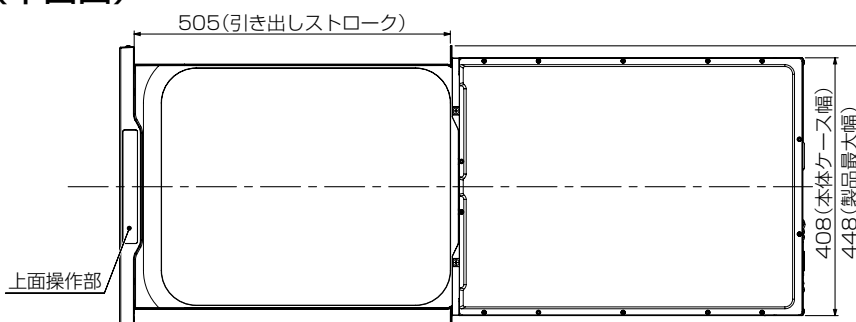


(側面図)

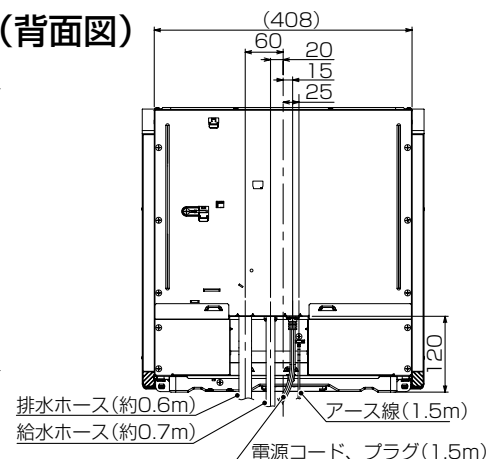


全タイプ

(平面図)



(背面図)



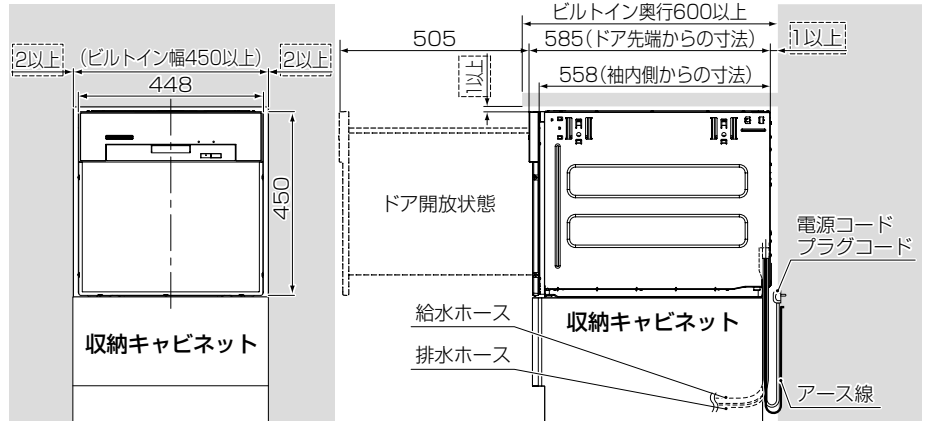
※パネル材および、扉材は、付属していません。販売店もしくはキッチンメーカーにお問い合わせ下さい。

設置場所について

◎設置時に必要なスペース

- ・本機を設置する場合は、右図の設置寸法をお守りください。
- ・この食器洗い乾燥機は、「消防法告示第一号(対象火気設備などおよび火気器具などの隔離距離に関する基準)」に適合しております。

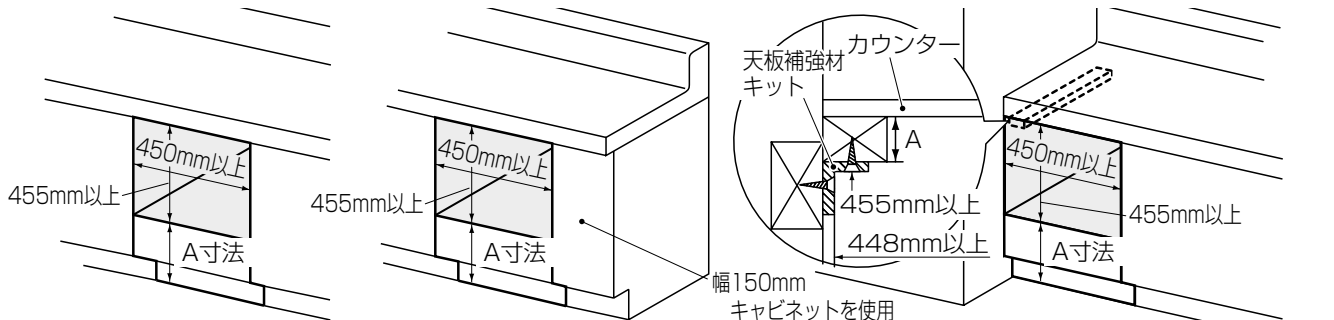
消防法 標準適合 組込形 隔離距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	-	0



(単位：mm)

・上記の製品例はパネル材仕様のFB4515Pです。(全タイプも同様)

【中間にビルトインする場合】 【片側がフリーの場合】 【片側が壁面または、トルユニットの場合】



A寸法

【参考】キッチン高さ850mmのとき355mm
キッチン高さ800mmのとき305mm
各寸法はカウンター厚さ40mmで、カウンター裏面と本体上面とのすき間を5mmとしたときの寸法です。

・片側がフリーの場合は幅150mmキャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。

・カウンター支持金具は、別売の**天板補強材キット(FP0109)**または、市販のL金具を使用します。

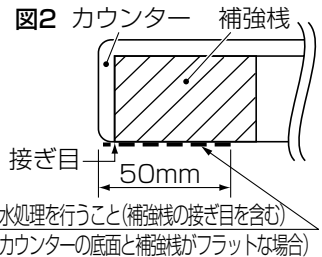
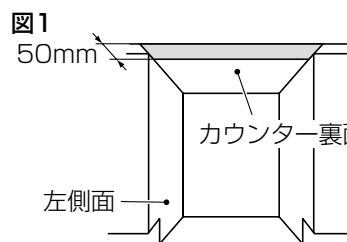
※締結ネジの長さは、上図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。(電気設備の技術の解釈により義務づけられています。)

・ビルトイン型加熱機器などと並べて設置する場合は、別売の**天板補強材キット(FP0109)**でカウンターの補強処置を施してください。

◎カウンター裏面の防水処理

(カウンターの底面と補強棧がフラットな場合)

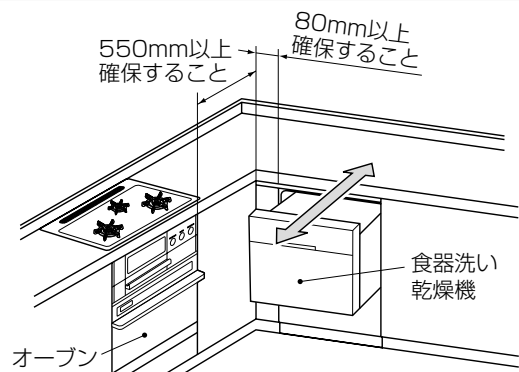
- ・カウンター端面から50mm以上(補強棧の接ぎ目を含む)の防水処理が必要です。(図1)カウンターからの水の垂れや、運転中の蒸気・排気により結露水などが補強棧の接ぎ目に浸入するおそれがあります。(図2)



※図のように内寸法幅いっぱいまで、防水処理を行ってください。また、接ぎ目部も必ず防水処理を行ってください。(防水処理を行わないと湯気や蒸気によってカウンター裏面が膨じゅんする場合があります。)

お願い

- ・L型配列のコーナー部に設置すると、本機器のドアを開閉する際にオープンなどの取っ手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。
- ※本機器の金属部分が、家屋の壁中のラス網や金属板・流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。(電気設備の技術の解釈により義務づけられています。)



電気工事について

工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。

電源の確認

1. 電源仕様

⚠警告

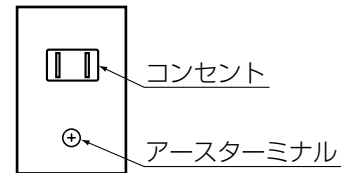


必ず守る

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の機器と併用すると分岐コンセント部の異常発熱により発火するおそれがあります。

- ・本機器は100V仕様、50Hzと60Hzは共用です。
- ・電源回路は100V・15A以上の専用回路を設けてください。
- ・コンセントは125V・15Aのアースターミナル付埋込コンセントを設けてください。



⚠警告



必ず守る

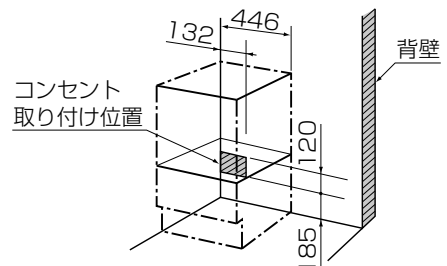
電路に漏電しゃ断器を設置する。

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、漏電しゃ断器を新設する必要はありません。

2. コンセントの取り付け位置

- ・コンセントは本体を設置する場所の背面に設けてください。(コンセントを壁面に必ず固定してください。)



3. アース線の取り付け

- ・アース工事を必ず行ってください。

⚠警告



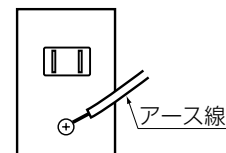
アース必要

アース線を確実に取り付ける。

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

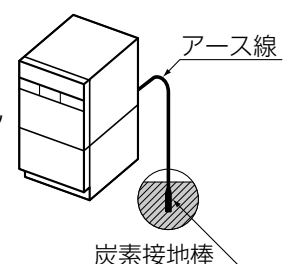
◎アースターミナル付き埋込コンセントにアースする場合

- ・アース線を確実にアースターミナルに接続してください。



◎炭素接地棒でアースする場合

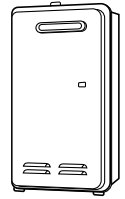
- ・アース工事は必ずお買い上げの販売店または、電気工事店に依頼してください。(電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう法令で定められています。)
- ・ガス管・水道管・電話のアース線・避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- ・設置場所の変更や転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。(アース工事は有料ですが、ご了承ください。)



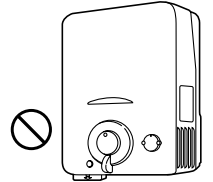
給湯器について(FB4515P・F45B15Pタイプのみ)

※FB4516P・F45B16Pタイプ、FB4516Wタイプは給水接続専用のため

- ◎給水接続または、給湯接続を、お客さまに確認した上で施工願います。
(給湯接続された場合、運転時間が短縮されます。)
- ◎給湯は10号以上の先止め式給湯器などで60℃以下の温度に調整可能なものに接続してください。
- ◎FB4516P・F45B16Pタイプ、FB4516Wタイプは給水接続専用です。
 - ・水冷除湿方式で乾燥する給水接続専用です。
 - 給湯接続でも使用できますが、乾燥の仕上がりが悪くなります。
 - ※乾燥・ドライ運転時に水冷除湿を行うため、少量の水を使用します。



先止め式給湯器に接続してください。



元止め式湯沸器に接続しないでください。

△注意



禁止

小型深夜電力利用温水器・元止め式湯沸器からの配管は絶対にしない。
機器へ給水されなかったり湯沸器からの水漏れのおそれがあります。



必ず守る

食器洗い乾燥機の水道水圧は、0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm²)の範囲で使用する。
とくに高水圧地域0.6MPa(6kgf/cm²)以上では、減圧弁を必ず取り付けて、
0.1~0.3MPa(1~3kgf/cm²)程度に減圧してください。
水漏れの原因になります。

給・排水工事について

- ◎本機器が使用できる水道水圧は0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm²)の範囲ですが、配管によっては圧力が上昇する場合がありますので、0.6MPa(6kgf/cm²)を越える場合や台所の水栓などの操作時に水道配管の異常音(ウォーターハンマー現象)が発生する場合は減圧弁を必ず取り付けて、0.1~0.3MPa(1~3kgf/cm²)程度に減圧してください。

△注意

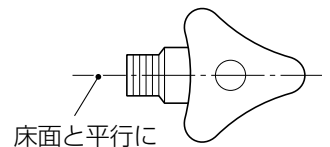


必ず守る

高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける。
水漏れの原因になります。

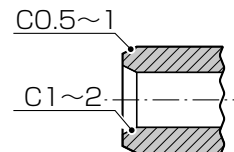
- ◎本機器は配管直結タイプのため設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確に行ってください。
 - ・給湯(給水)は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して断熱材を巻いてください。
(給湯の場合は必ず耐熱配管にします。)
 - ・排水本管に至るまでの接続部分も耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
 - ・配管用接着剤は、耐熱用を使用してください。
 - ・給・排水工事が9ページ[図a][図b][図c][図d]の寸法になっているか確認してください。
 - ・アングル型止水栓(ハンドル式固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。
(止水栓は、試運転前まで閉じた状態で、出口は床面と平行にしてください。)
- ※機器の故障時、お客様に止水栓をしめて頂く場合がありますので、必ず工具なしで開閉できる止水栓を取り付けてください。
- ※冬期長期間留守し、凍結が心配される地域に設置する場合は、水抜弁付きの寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

止水栓角度



お願い

- ・排水管HT20の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。
- ・給・排水管の端面は、バリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に除去してください。
- ・給水管工事後、管路には工事に伴うゴミやスケールがたまっています。これらのゴミ類は、本体側給水ホースのナット部に入っているフィルターに目詰まりし、給水不良の原因となります。このため、本体の給水ホースを接続する前に止水栓を開き、水受け容器などに水を出してゴミが出なくなしてから、給水ホースを接続してください。
- ・使用されるお客様に止水栓の取り付け位置を説明してください。
- ・元付け型の浄水器に接続しないでください。また、本機への接続経路に浄水器を接続しないでください。元付け型の浄水器や本機への接続経路に浄水器が接続されていると、残留塩素濃度が0.1ppm以下(水道法基準は0.1ppm以上と規定)となり、浄水器以降の屋内に給水される水が、細菌などに汚染(繁殖)されるおそれがあります。それにより、給水経路が詰まり、給水不良が発生するおそれがあります。



配管例

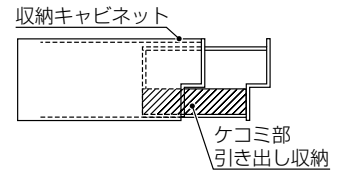
- ・ ※印寸法は必ずお守りください。排水ホースが折れ、排水不良の原因となります。
- ・ 下記配管例以外の施工をする場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
- ・ キッチンメーカーからの指示がある場合は、キッチンメーカーに従ってください。

注意

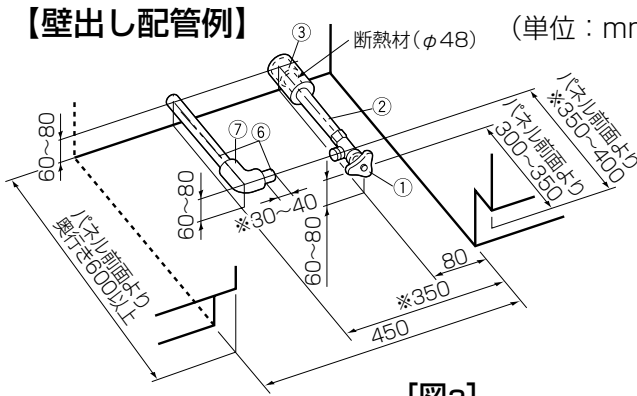


必ず守る

本機を設置するキャビネットの種類が、ケコミ(台輪)部分が引き出し収納の場合は、事前に販売店へ配管寸法を確認する。
下記配管寸法では、引き出し収納と干渉して設置することができない場合があります、寸法を変更する必要があります。

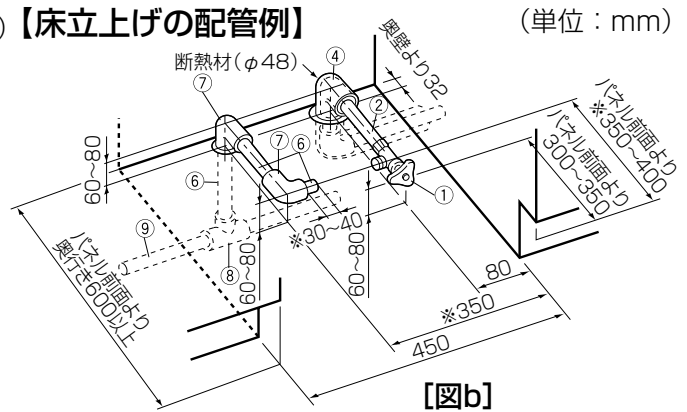


【壁出し配管例】



【図a】

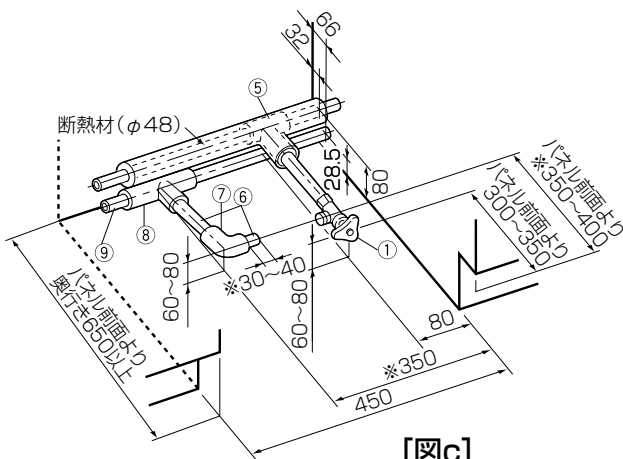
【床立上げの配管例】



【図b】

【床ころがしの配管例1】

(単位：mm)



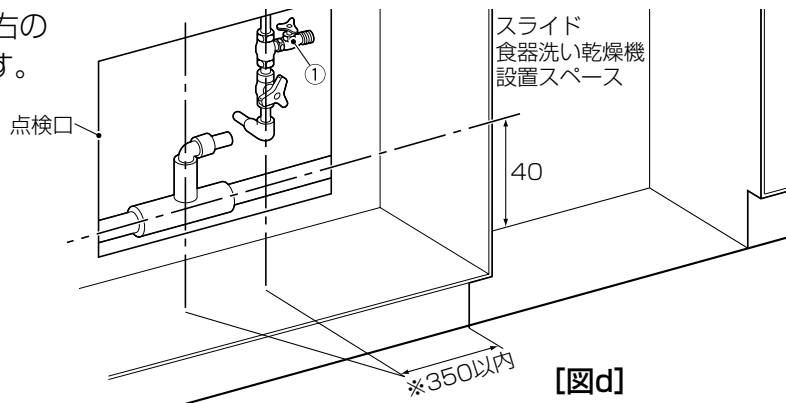
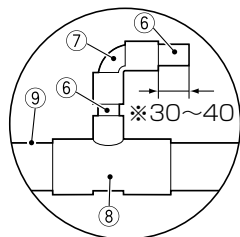
【図c】

- ① アングル型止水栓
(ハンドル式固定ゴマタイプ)
- ② 給湯(給水)硬質塩化ビニルライニング鋼管15A
(相当品)
- ③ Rc1/2ソケット
- ④ Rc1/2エルボ
- ⑤ チーズ
- ⑥ HT20
- ⑦ HT20エルボ
- ⑧ HT40×20チーズ
- ⑨ VP40

【床ころがしの配管例2】

(単位：mm)

- ・ 近接するシンクキャビネット背面に点検口を有する配管スペースがある場合
- ※点検口が設置スペースの右の場合は対称寸法となります。



【図d】

注意



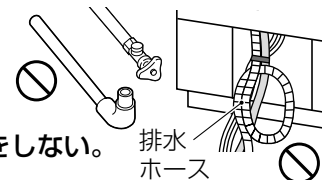
必ず守る

配管先端の①アングル型止水栓と⑦HT20エルボを上向きにしない。
給水・排水ホース折れの原因になります。



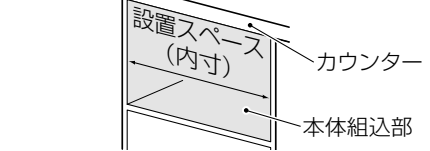

必ず守る

排水ホースのループ巻きなど、排水ホースでトラップ構成にして接続をしない。
排水不良が起きる原因になります。


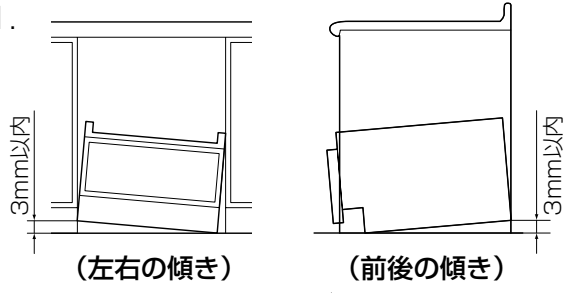
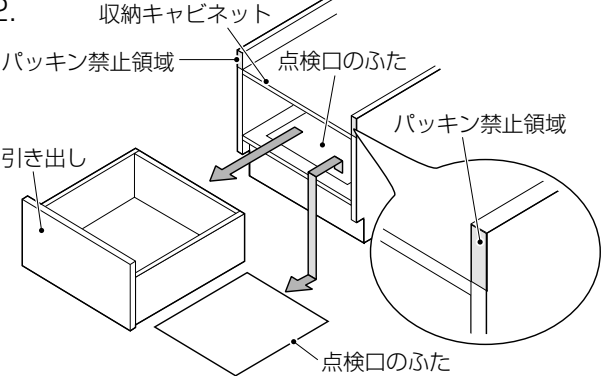
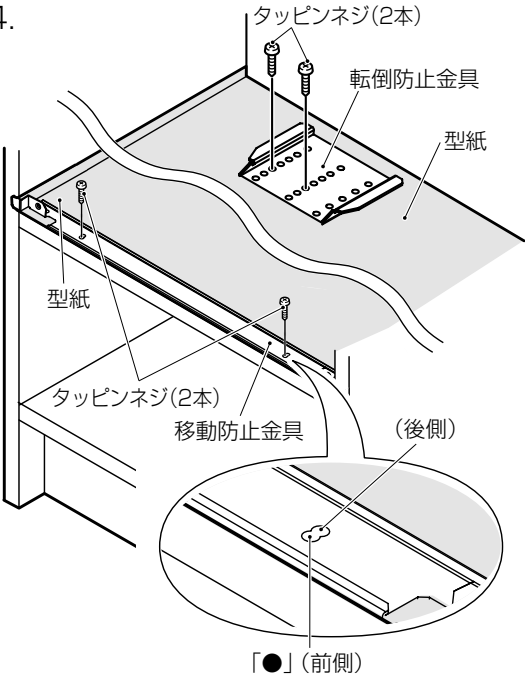


設置手順

1. 設置前に(フィラーの取り付け)

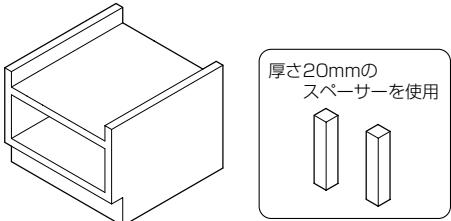
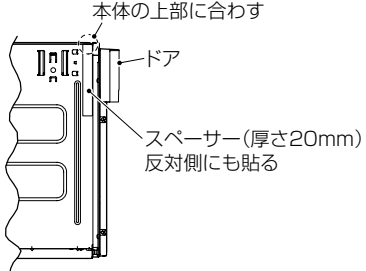
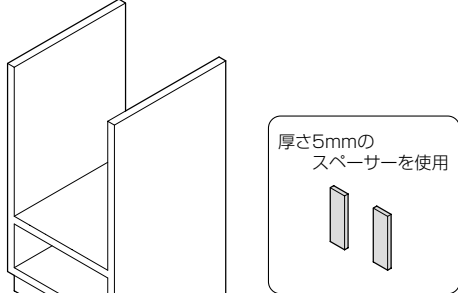
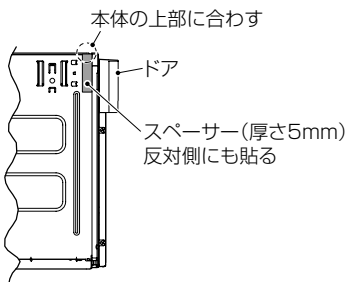
作業手順	説明図
<p>1. 製品を設置するスペースの内寸を計ってください。付属のフィラーを内寸法に合わせてカットしてください。 ※内寸法が450mm以上の場合、カットの必要はありません。</p> <p>2. 付属品のフィラーの離型紙をはがして、カウンターと棧との接ぎ目を保護するように、貼り付けてください。</p>	<p>1. </p> <p>2. </p>

2. 転倒防止金具・移動防止金具の取り付け





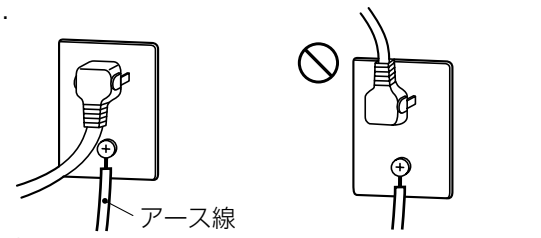
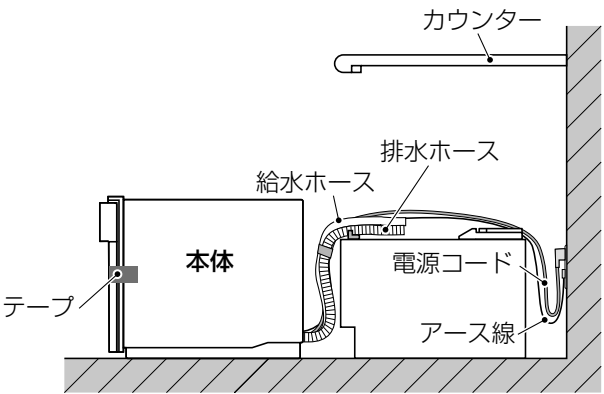

作業手順	説明図
<p>1. 本体を設置する前に収納キャビネットが水平に固定されているか水準器などで確認してください。</p> <div data-bbox="180 880 300 925" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>△注意</p> </div> <div data-bbox="151 936 774 1025" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>! 設置床面との傾きは3mm以内にする。 水漏れなど故障の原因となります。 <small>必ず守る</small></p> </div> <p>2. 引き出しを取り外します。 ・引き出しを外すだけで、内部に事前の配管が見える場合は、ほかに取り外す部材はありません。 ・引き出しを抜いた内部の底面に点検口のふたがある場合は、取り外してください。 (点検口の中に事前の配管が見えます。) ・外した引き出し、および点検口のふたは、「試運転」が終了するまで取り出した状態にしておきます。 ※収納キャビネットの構成が上記と異なる場合は、給排水の配管が見えるところまで部材を外してください。 右図のパッキン禁止領域にパッキンがある場合は、パッキンを取り除いてください。</p> <p>3. 型紙セットには転倒防止金具・移動防止金具が取り付けられています。 これらの金具が取り付けられたまま、型紙に記載されている説明に従って取り付けてください。 移動防止金具の締め付け穴は、 穴の前側(●印部)を使用してください。</p> <p>4. 転倒防止金具・移動防止金具を付属のネジ4本にて固定してください。</p> <div data-bbox="180 1731 300 1776" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>△注意</p> </div> <div data-bbox="151 1787 774 1888" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>! 移動防止金具・転倒防止金具を必ず取り付ける。 ドアを引き出したときに、本体が傾いたり、前へ移動するおそれがあります。 <small>必ず守る</small></p> </div> <div data-bbox="151 1899 774 2000" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>! 電動ドライバーは使用しないで手締めで締める。 ネジ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。 <small>必ず守る</small></p> </div> <div data-bbox="151 2011 774 2112" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>! 製品の取り替え時はすでに取り付けしている金具を取り外して、必ず付属の移動・転倒防止金具を使用してください。 <small>必ず守る</small></p> </div> <p>5. 型紙を取り外してください。</p>	<p>1. </p> <p>2. </p> <p>3.4. </p>

3. スペーサーの取り付け

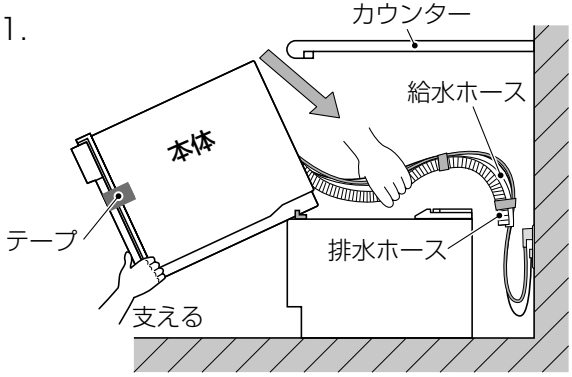
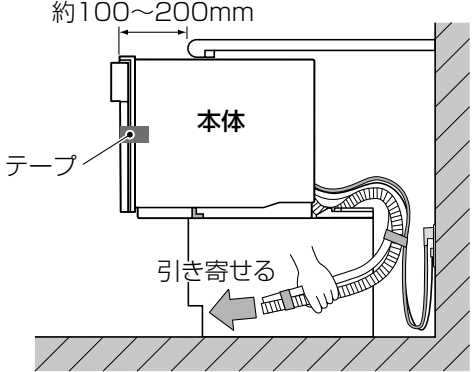
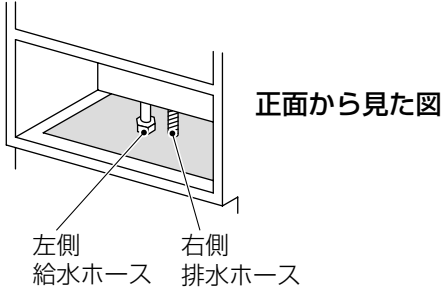
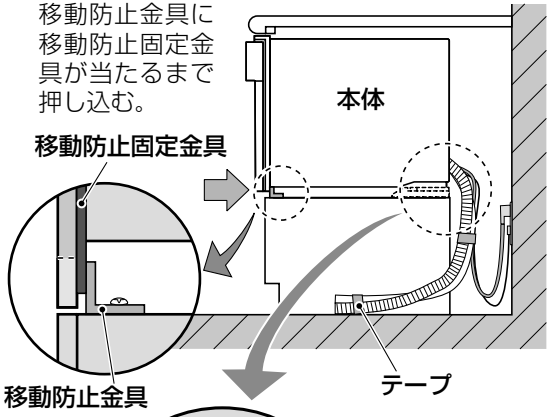
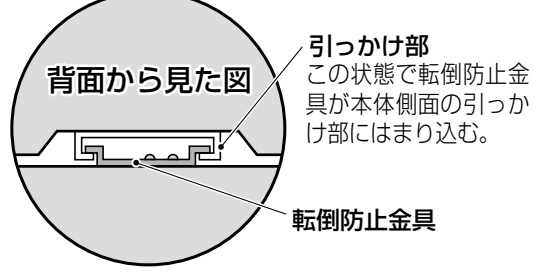
1. 本体が横方向に移動しないようにするため、スペーサー（同こん）を本体の左右側面にしっかりと貼り付けてください。
2. 設置されている収納キャビネットの側板の高さにより使用するスペーサーと貼り付け位置が異なりますので、下図に従ってスペーサーを選び、正しい位置に貼り付けてください。

作業手順	説明図
<p>・ 収納キャビネットの側板が低い場合</p>  <p>厚さ20mmのスペーサーを使用</p>	 <p>本体の上部に合わず ドア スペーサー(厚さ20mm) 反対側にも貼る</p>
<p>・ 収納キャビネットの側板が高い場合</p>  <p>厚さ5mmのスペーサーを使用</p>	 <p>本体の上部に合わず ドア スペーサー(厚さ5mm) 反対側にも貼る</p>

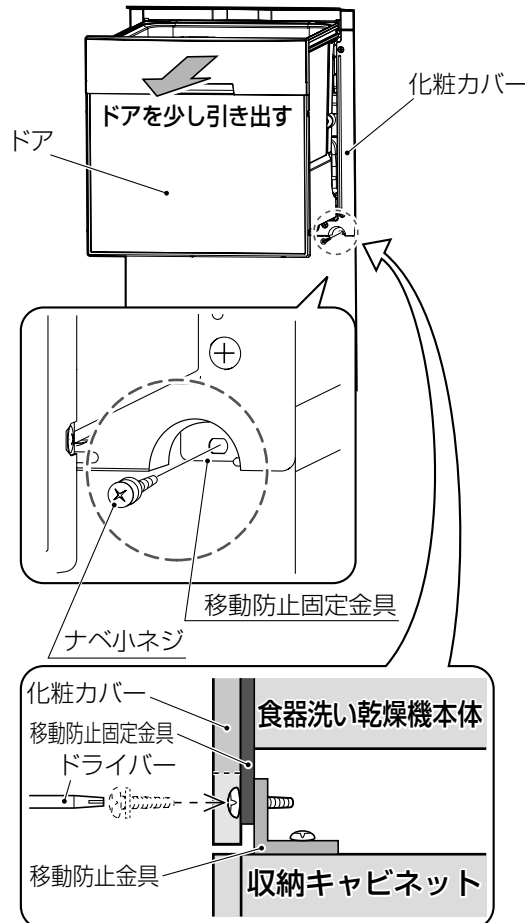
4. 電源コード・アース線の接続

作業手順	説明図
<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none">  電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結しない。  コンセントを床面にころがして電源プラグを差し込み、使用しない。 感電・漏電・火災の原因となります。  電源プラグはコードが下向きに出るようにコンセントを奥まで確実に差し込む。 上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。  アース線は必ず確実に取り付ける。 ※ガス管・水道管・電話のアース線・避雷針などのアース線には絶対に接続しないでください。 (法令などで禁止されています。) 	<p>1. 2.</p>  <p>アース線 上図のように差し込む 電源プラグの向きを逆にしてしないでください。</p>  <p>カウンター 排水ホース 給水ホース 電源コード アース線 テープ 本体</p>
<p>1. 電圧が100Vであることを確認してから、コンセントに電源プラグを差し込みます。</p> <p>2. アース線をアースターミナルに接続します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none">  ドア部のテープは、収納キャビネットに押し込むまで、はがさない。 	

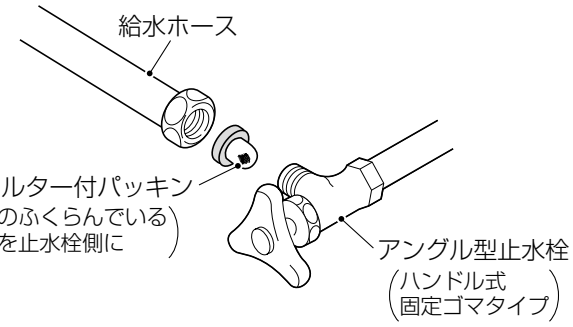
5. 本体のビルトイン

作業手順	説明図
<p>1. 本体後部を取納キャビネットに乗せた状態でカウンターと本体の間に手を入れ、給水ホースと排水ホースを取納キャビネットの奥へ押し込みます。</p> <p>※ドアではなく、本体下部を支えるようにしてください。</p>	<p>1.</p> 
<p>注意</p> <p>必ず守る ドアのテープは、開こん時のままにしておく。本体を斜めになると、ドアが開くおそれがあります。</p>	<p>2.</p> 
<p>2. 本体を取納キャビネットの上をすべらせながら押し込んでください。約100~200mmくらい残して押し込み、キャビネット下側もしくは点検口より給水ホースと排水ホースを手前に引き寄せられることを確認してください。</p>	<p>正面から見た図</p> 
<p>注意</p> <p>禁止 本体を取納キャビネットに一気に押し込まない。排水ホースが折れ曲がり、排水不良の原因となります。</p> <p>禁止 ビルトインのとき電源コード・アース線・給水ホース・排水ホースに傷つけない。水漏れ・漏電の原因となります。排水ホースが折れ曲がり、排水不良の原因となります。</p> <p>必ず守る 給水ホースと排水ホースがねじれないようにする。奥行きが狭い場合は、ホースがねじれると、本体が入らない場合があります。</p>	<p>4.</p> 
<p>3. ドアのテープをはがしてください。</p> <p>4. 本体を転倒防止金具にはめ込むように入れ、本体ケース底部の移動防止固定金具が、移動防止金具に当たるまで押し込んでください。</p> <p>※ドア下部の両角をゆっくり押ししてください。</p> <p>5. ドアを引き出したとき、上から押してもガタつかないか確認してください。</p> <p>6. 給水ホース・排水ホースを束ねているテープをはがしてください。</p>	<p>背面から見た図</p>  <p>引っかけ部 この状態で転倒防止金具が本体側面の引っかけ部にはまり込む。</p>
<p>注意</p> <p>必ず守る テープは手ではがし、カッター、ハサミを使用しない。給水、排水ホースを傷つけ、水漏れの原因になるおそれがあります。</p>	

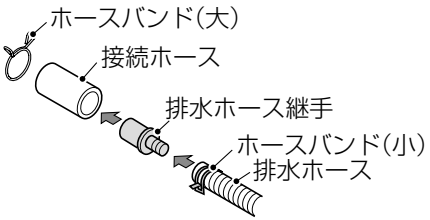
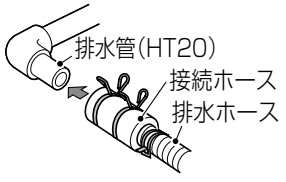
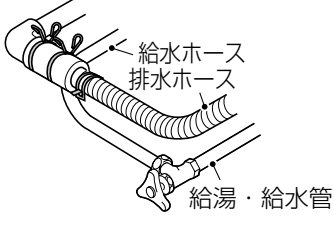
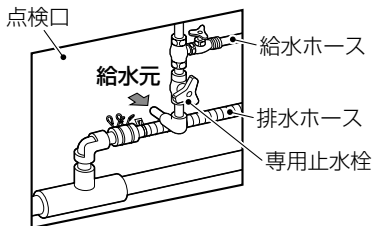



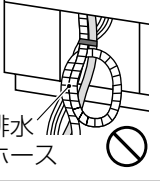
6. 移動防止金具との固定

作業手順	説明図
<p>1. ドアを少し引き出して、移動防止金具と移動防止固定金具をネジで締め付けて固定します。 (左右2カ所行ってください。)</p> <p>※ネジの締め付けは必ず手で行ってください。</p> <div data-bbox="183 421 311 465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>警告</p> </div> <p>必ず守る 必ず移動防止固定金具と移動防止金具を固定する。 ドアの開閉により本体が手前に移動して、<u>収納キャビネットから落下するおそれがあります。</u></p> <div data-bbox="183 689 311 734" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>注意</p> </div> <p>必ず守る 電動ドライバーは使用しないで手締めで締める。 ネジ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。</p> <p>必ず守る 移動防止固定金具と移動防止金具のすき間がないか確認する。 転倒防止金具が本体にはまっていないおそれがあります。</p> <p>禁止 排水ホースと給水ホースをねじったり、はさみこまない。 再度本体を引き出し、入れ直してください。 (12ページ『5. 本体のビルトイン』参照。)</p>	<p>1.</p>  <p>化粧カバー</p> <p>ドア</p> <p>ドアを少し引き出す</p> <p>移動防止固定金具</p> <p>ナベ小ネジ</p> <p>化粧カバー</p> <p>移動防止固定金具</p> <p>ドライバー</p> <p>移動防止金具</p> <p>食器洗い乾燥機本体</p> <p>収納キャビネット</p> <p>〈側面から見た図〉</p>

7. 給湯・給水管との接続

作業手順	説明図
<p>1. アンクル型止水栓 (ハンドル式固定ゴマタイプ) に、必ず付属しているフィルター付きパッキンの網のふくらんでいる方を止水栓側に入れ、給水ホースを確実に締め付けてください。</p> <div data-bbox="183 1630 311 1675" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>注意</p> </div> <p>必ず守る ナットは手で軽く締め込んだあと、約半回転くらい締め付ける。 適正な締め付けトルクは5~10N・m (50~100kgf・cm) です。</p>	<p>1.</p>  <p>給水ホース</p> <p>フィルター付パッキン (網のふくらんでいる 方を止水栓側に)</p> <p>アンクル型止水栓 (ハンドル式 固定ゴマタイプ)</p>

8. 排水管との接続

作業手順	説明図
<p>1. 付属の接続ホースと排水ホース継手を接続し、ホースバンド(大)で固定します。 排水ホースに排水ホース継手を接続し、ホースバンド(小)で固定します。</p> <p>2. 排水管(HT20)に接続ホースを接続してホースバンド(大)で固定してください。</p> <p>①の場合、<u>排水ホースは給湯・給水管や、給水ホースの上を通るように配管してください。</u></p> <p>②の場合、『床ころがし配管2』9ページを参照してください。</p>	<p>1. </p> <p>2. </p> <p>① </p> <p>② </p>
<p>注意</p> <p> 必ず守る 排水ホースが折れたりねじれたりしていないか、確認する。</p> <p> 禁止 排水ホースを途中で切断しない。水もれの原因になります。</p> <p> 必ず守る 排水ホースのループ巻きなど、排水ホースでトラップ構成にして接続をしない。排水不良が起きる原因になります。</p> <p></p>	

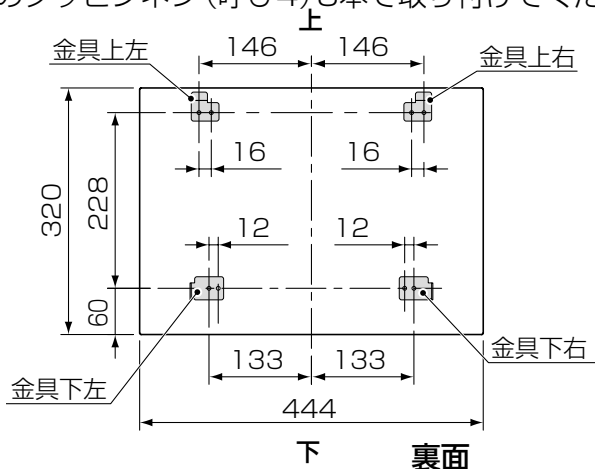
11. 扉材の取り付け (FB4516Wタイプのみ)

※扉材は現場調達品です。

◎扉材固定金具固定位置と扉材寸法

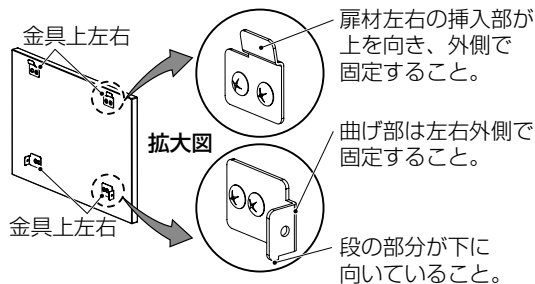
※扉材厚みは、15mm・18mmに対応しています。(扉材は、防水処理を行っているものを使用してください。)

※金具固定の為、下図の位置8カ所に下穴(φ2.5、深さ12)をあけて、付属の扉材固定金具を付属のタッピンネジ(呼び4)8本で取り付けてください。



⚠注意

❗ 必ず守る
組み付け方向があるので確認してから取り付ける。



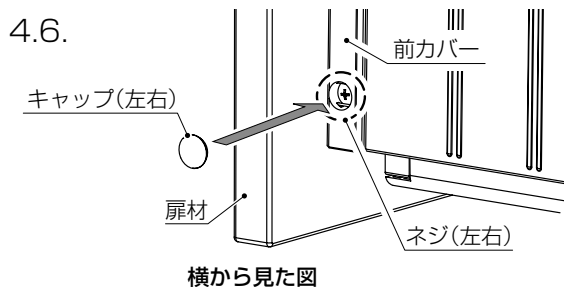
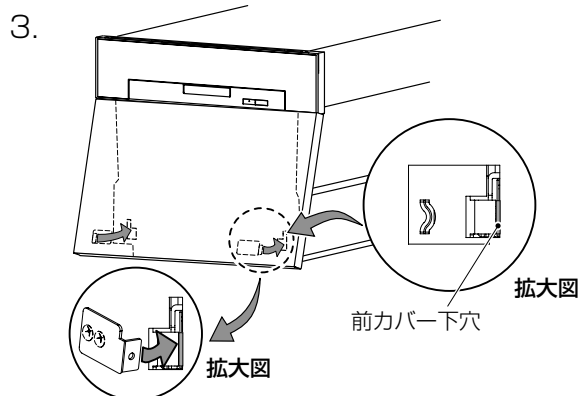
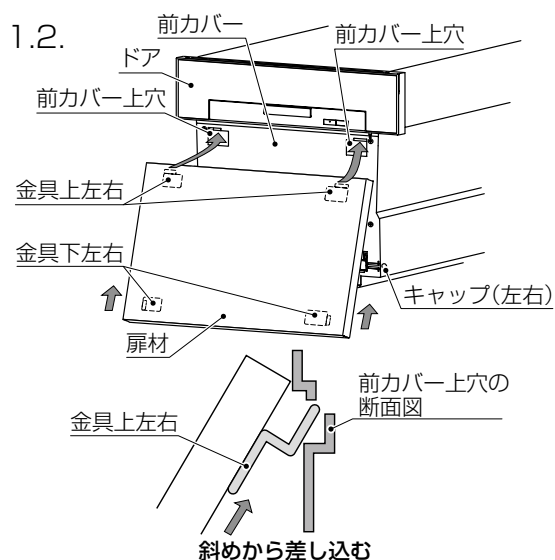
作業手順

1. ドアを少し引き出し、キャップ(左右)を取り外してください。
2. 斜めから、金具上左右を差し込んでください。
3. 金具上左右を前カバー上穴に差し込んだ状態で、金具下左右を前カバー下穴に差し込みます。
4. 前カバー左右のネジを軽く締め付け、仮止めしてください。
扉材を手前に引いても外れないことを確認してください。
5. ドアと扉材の側面が合うように扉材を左右に動かして調整してください。(調整寸法左右約2mm)
6. 前カバー左右のネジが止まるまで均等に締め付けてください。
ネジを締めた後、キャップ(左右)を取り付けてください。

⚠注意

- ❗ 必ず守る
前カバー左右のネジは均等に締め付ける。
- ❗ 必ず守る
電動ドライバーは使用せずに、手締めで締める。

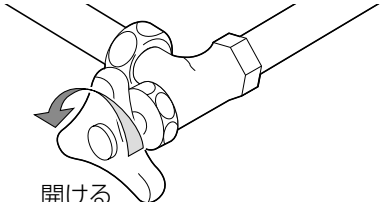
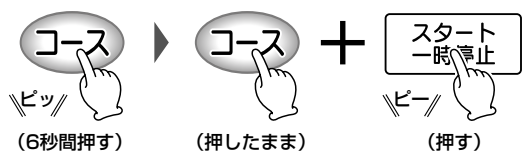
説明図



試運転

- ◎試運転を行う前に、電源の通電と給水の開栓を確認してください。
- ◎次の手順で試運転を確認してください。

1. 試運転

作業手順	説明図
<p>1. 止水栓を開いてください。</p> <p>2. ドアを引き出し、庫内から付属品などを取り出してください。 (かごや残さいフィルターをとめているテープや上カゴをとめているビニタイも取ってください)</p> <p>3. 電源『切』の状態ドアを開き、【コース】スイッチ(上面操作部)を6秒間押し続けてください。『ピッ』というブザー音が鳴ったら、【コース】スイッチ(上面操作部)を押したまま【スタート/一時停止】スイッチを押して、『ピー』というブザー音が鳴ったら、ドアを閉めてください。試運転が開始されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FB4516P・F45B16Pタイプ、FB4516Wタイプでは前面操作部の運転表示ランプが順番に点灯します。 ・FB4515P・F45B15Pタイプでは、運転ランプが点滅します。試運転が終了すると『ピーピーピーピー』とブザー音が鳴ります。 <p>4. 下記チェックを確認後、ブレーカー(機器用)は「ON」のままにしてください。</p>	<p>1. </p> <p>3. </p>

◇つぎのチェックをしてください。

1. 一定量の水がたまるまで、「シャー」という給水音が聞こえるか確認してください。
2. 洗浄水を噴射しながら庫内のノズルが回転します。
このとき「バシャバシャ」という音が聞こえるか確認してください。
3. 運転中、給水管・排水管の接続部や、その他からの水漏れがないことを確認してください。
4. 運転終了後、電源が切れて、全てのランプが消灯したか確認してください。
5. ドアを引き出し、庫内の水が排水されていることを確認してください。
(残さいフィルターの下に若干の水が残りますが、これは異常ではありません。)
6. 試運転後、長時間使用されない場合は、庫内の水をきれいなタオルなどで拭きとってください。
長期間居住されない場合は、万が一の水漏れを防止するため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

2. 異常報知について

品名コード	ランプ表示	内 容	処 置
FB4515P F45B15P タイプ	標準 強力 スピーディ 予洗い 乾燥のみ ドライ	水漏れ不良 〔機内の水通路の接続部や給水バルブの接続部などからの水漏れが発生していることを示しています。〕	1. 機器の止水栓もしくは水道の元栓を閉める。水漏れしていないか確認する。 ※ポンプを稼動し強制的に排水しますのでブレーカー（機器用）を切らないでください。 ブレーカー（機器用）を切ると機器外に水漏れする場合があります。
FB4516P F45B16P タイプ FB4516W タイプ	標準 強力 スピーディ 低温 予洗い 乾燥のみ		
FB4515P F45B15P タイプ	標準 強力 スピーディ 2時間 予洗い 乾燥のみ ドライ 4時間	給水不良 〔水栓の開け忘れや、給水管のつまり、または断水・水道管の凍結などで給水できないことを示しています。〕	1. ブレーカー（機器用）を切る。 2. 水栓（給水栓および機器下の止水栓）が開いているか確認する。 ※断水の場合は、断水の回復を待つ。 3. ブレーカー（機器用）を入れる。
FB4516P F45B16P タイプ FB4516W タイプ	標準 強力 スピーディ 2時間 低温 予洗い 乾燥のみ 4時間		
FB4515P F45B15P タイプ	標準 強力 スピーディ 2時間 予洗い 乾燥のみ ドライ 4時間	排水不良 〔排水ホースの折れや、異物の詰まりによって、排水できないことを示しています。〕	1. ブレーカー（機器用）を切る。 2. 残さいフィルター詰がまっていないか、排水ホースが折れ曲がっていないか確認する。 3. ブレーカー（機器用）を入れる。
FB4516P F45B16P タイプ FB4516W タイプ	標準 強力 スピーディ 2時間 低温 予洗い 乾燥のみ 4時間		

・上記処置後、再度試運転を行ってください。

試運転後の作業

- ・3ページの『設置後の点検確認』のチェックリストで確認してください。
- ・10ページ『設置手順』で、外した収納キャビネットの引き出し、および点検口のふたなどを元の状態になるように取り付けてください。

お客様への取り扱い説明

1. 別添の『取扱説明書』に従い、使用上の注意事項・正しい使用方法を説明してください。
2. 保証書（『取扱説明書』に記載）に必要事項を記入のうえ、この『工事説明書』とともにお客様に渡していただき、保管をお願いしてください。

仕様

	パネル材仕様		扉材仕様
		FB4515P・F45B15Pタイプ FB4515P・F45B15P EFB4515P・SFB4515P NFB4515P・NF45B15P	FB4516P・F45B16Pタイプ FB4516P・F45B16P NFB4516P・NF45B16P
電源電圧	単相交流100V		
周波数	50/60Hz共用		
消費電力	ポンプモーター	75W(50/60Hz)	
	ヒーター	800W	
	最大消費電力	875W(50/60Hz)	
定格電流	8.8A(50/60Hz)		
外形寸法	製品最大幅448mm(本体幅408mm)×高さ450mm		
外形寸法(奥行き)	パネル材なし時574mm	扉材なし時562mm	
製品の質量	約20kg		
使用水量(標準コース)	約10L	約15L	
使用水量	0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm ²)		
洗浄方式	回転ノズル噴射式	回転ノズルおよび固定ノズル噴射式	
すすぎ方式	ためすすぎ		
乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥	ヒーターとファンによる水冷除湿乾燥	
標準食器量	大皿:5点 中鉢:5点 小皿:5点 茶わん:5点 汁わん:5点 湯のみ:5点 コップ:5点 他にスプーン・フォーク・はし・包丁など 計35点		